

十勝災害復興推進会議（概要）

日時：平成 28 年 12 月 16 日（金）13:00～13:40

場所：帯広市 ホテルグランテラス帯広

●開会

●会議の趣旨説明、参加団体の紹介、代表の選出、代表挨拶

●事務局から要望事項について説明

《橋本部長》

それでは、お手元に配布させていただいております「平成 28 年 8 月からの大雨等災害に関する要望（案）」ということで、ご覧をいただきたいと思っております。

まず表紙でございますけれども、この度の災害の甚大さを表している写真ということで、今回は清水町のペケレベツ川の写真を使わせていただいたところですので、おめくりいただきまして、最初に、この会議の代表からのメッセージということで、まずは、この度の災害が、十勝の開拓 134 年の歴史の中でも未曾有の出来事となったということ、そしてこの間、早期の激甚指定、そして交付税の繰上交付、さらには農林水産業者への支援、さらには道東自動車道の無料措置など、これまでの国や関係機関のご配慮に対する御礼、さらにその次に現在の現状といたしまして、被災から 3 ヶ月以上が経過したものの、鉄道の運休、そして国道 274 号線の通行止めにより、地域住民が元の生活を取り戻すまでにはまだまだ多くの時間を要するという実情を訴えた部分、そして最後になりますけれども、官民がより一層連携を図り、オール十勝一丸となって、復旧・復興に取り組んでいくという決意表明と、さらには必要な予算の確保や、地方財政措置など、さらなる支援をお願いする、こうした内容とさせていただきます。

具体的な要望項目でございますけれども、全部で今回 6 項目を調整させていただいております。

まず一番目でございますけれども、国道 274 号の早期復旧及び高速道路の整備拡充ということでございまして、先日、北海道開発局さんの方から、開通の見通しを来年秋と発表いただいたところでございますけれども、一日も早い通行止めの解除と完全復旧を行うことに加えまして、高速道路の全線早期完成と、4 車線化整備を促進するということについての要望としてございます。

2 点目でございますけれども、観光需要の回復等に向けた支援の充実ということで、宿泊施設等の大量の予約キャンセルということなど、観光業は大変厳しい状況にあるということでございますので、旅行券の発行など、観光需要の早期回復に向けた特段の支援を講じることについての要望でございます。

それから 3 点目でございます。河川等の早期復旧及び災害関連事業等の推進ということで、河川の早期復旧はもとより、気象の変化に対応した治水対策を実施すること、さらには原形復旧にとどまらず、改良復旧など抜本的な対策についての要望とさせていただいたところでございます。

4 点目になりますけれども、農林水産業の経営安定化に向けた支援ということでございまして、土づくりに対する必要な支援、それからシカ柵の復旧、それから畜産農家に対する飼料の確保、さらには森林の早期復旧、そして海底流木の回収に向けた必要な予算を確保するといったことについての要望と整理をさせていただいたところでございます。

次のページになりますけれども、5 番目、被災者に対する支援という項目になりますけれども、被災者生活再建支援制度の適用に当たって、半壊世帯についても支援の対象となるよう制度の拡充を図るといったこと、さらには災害救助法の弾力的運用に加えまして、障がい・介護などのサービスの提供事業者への支援ということについても要望事項とさせていただいております。

最後になりますけれども、6 番目の、復旧・復興に対する十分な地方財政措置ということで、特別交付税の別枠配分・重点配分の措置ということに加えまして、今後市町村が実施をします地域の防災力強化に向けた取組について、必要な財政支援を行うといったことについての要望事項とさせていただいております。この度整理をさせていただきました要望内容については、以上でございます。

●要望事項について質問や意見

《高橋代表》

今要望事項の柱、6点について説明させていただきましたけども、皆さんからご質問があればいただきたいと思います。

《芽室町 齊藤副町長》

芽室町の齊藤です。要望等の説明がありましたけども、芽室町の今回の被災の中に、中小企業等が24社ほど含まれておりまして、かなりの被害の額をですね、大小はありますけど、そういった被災を受けているものがあります。できればこの要望の中に企業に対する産業支援、そういったものを盛り込んでもらえたらなあというところが、今（要望事項の説明を）聞かせていただいて感じたところがあります。

《高橋代表》

農業関連施設や関連企業、漁協もそうですし、民間も含めて今芽室の副町長からご意見をいただきました。とても大事なことです。是非この中に具体的な要望として入れていくということで、考えていきたいと思います。

ほかにございませんか。

《広尾漁協 角井専務理事》

広尾漁協の角井と申します。水産の関係でございまして、4番に書いていただきましてありがとうございます。関係することで、流木に関しましては海岸線に漂着したもの、これについては、関係官庁の予算で処理しています。河川の中にある流木、それから海に流されて沈木となっているという現象がございまして、今回沈木については堆積ということでこの要望にあがっております。しかし、今回の災害によって河川内にまだ非常に多くの流木が残っています。ですので、これが一度また海に流れ出しますと、回収が非常に困難なものとなります。また、土砂につきましても相当流れ出たのではないかと。特に十勝川につきましましては、被災してから1ヶ月以上にわたりまして濁り水が出たということで、海の中は非常に土砂が溜まっていると。農業と同じように海の海底も、漁業者にとっては畑そのものです。漁具を使って、清掃など色々な形でやっているものですから、そういう流木それから土砂、これをですね、極力海のほうに流れないような形で国なり道なり市町村、それぞれ1級河川から一般河川まででございまして、それらを連携（ひとくくり？）にしてひとつの事業という形で予算を取っていただいて、事前にこれら进行处理できる体制をとっていただければ、というお願いでございまして。

《高橋代表》

今、角井さんの方からご意見をいただきました。今までですね、特に広尾や大樹の海をもっている自治体から必ずこの意見は出てきます。（管内）4つの台風が上陸して甚大な被害でしたから、いつも言われているのが、流木はもちろんです、（海底に）埋もれた木までね、ししゃもの網が全然使えないとか今回も相当ありました。また、関連施設も被害がありましたからそれを含めて、今検討していただいていますけども、河床の土砂や河畔林のことなど、しっかりと対策をしていかなければ。今ご意見いただきましたから、私共の方で要望の中でしっかりと検討させていただき、実態をつぶさに訴えさせていただきながら、対策をとっていただくようにと思いますのでよろしく申し上げます。

あと他にございませんか。

《十勝川温泉旅館協同組合 林代表理事》

十勝川温泉旅館協同組合の林と申します。2番目に観光需要の回復等について支援充実と記載してあり、その中で旅行券の発行について、最近鳥取の震災の時に国は1億円の支援を決めており、タイミングを逃さず早期に対応していただければありがたいかなというふうに思います。是非期限を設けて対応していただきたいです。糠平、然別湖含めて十勝の風評被害はまだまだであり、JRは22日に開通、

国道274号線が通行止めになっている中ですので早めにお願ひできればと思います。3番目の河川についてですが、十勝川温泉（付近）の河川の流れが変わりました。土砂や流木がまだまだ多く残っており景観がすごく悪くなっていますから、その対応も早期にお願ひしたいです。

《高橋代表》

しっかり受け止めさせていただき、要望の中に反映していきたいと思います。特に早急にということですから（そこもしっかり対応していきます。）。

あと他にございませんか。

《十勝地区トラック協会 奥野専務理事》

トラック協会の奥野でございます。ただいまの要望の中で1番目と4番目の事項に関連してお願いさせていただきますが、トラック協会としては物流走路の確保、特に国道274号線の復旧に関心がございます。現在、道東自動車道が代替路として無料で開放していただいておりますが大変助かっていますが、これから厳しい冬を迎えることにより吹雪や交通事故により通行止めの確率が高くなることを非常に心配しています。物流にも大きな影響がでますから1日でも早い（国道274号線の）復旧を是非お願いします。

2つ目は、公共工事の関係でトラックの確保という観点からも関心がありますが、今日の北海道新聞に「農地復旧 芽室で始まる」と掲載していました。河道を掘削して出た土を活用して土壌が流失した農地に使う。また、河道の掘削は洪水被害の防止や軽減にもなる。1つの事業で2つの効果がある大変素晴らしい事業だと思います。長く続けていただくと、トラック協会も輸送に携わるということでメリットがでますので、是非よろしくお願いします。

《高橋代表》

河道を掘削した土地を農地に使うことは、トラック協会さんや開発局などが携わっていて非常に有効な手段であることから、これからも引き続きお願いします。

あと他にございませんか。

《ぬかびら源泉郷旅館組合 蟹谷組合長》

ぬかびら源泉郷の蟹谷でございます。274号線のような大きな道路や大きな河川の復旧に大変多くの時間を要することは理解しています。我々糠平源泉郷としましては、上流域にあることから林道がすべて崩壊しているという状況です。林道が崩壊しているということは、林道などがまったく整備が追いついていない状況でございます。来年以降大雨が降ると、倒木などが流れ出しますので、大きなところ（道路や河川）を優先する状況は理解しますが、併せて林道の方もご要望していただければと思います。

また、ぬかびら湖は、3日前に全面結氷しましたが、災害から3ヶ月経過しても実はにがりごとれなかった。ということは、まだまだ山は荒れているということをご理解していただければと思います。よろしくお願ひいたします。

《高橋代表》

倒木の処理には3年かかると言いますが、水が浄化されていないという状況は暮らしの中に影響がでるわけですから、これらをしっかりと取り上げていきたいと思ひます。

《高橋代表》

それでは、いままでの意見を要望の中に取り入れていきたいと思ひます。

●オブザーバー（帯広開発建設部長）から一言

●来賓（道議3名）から一言

●閉会